

- 問1 戦国時代、現在の島根県に位置する石見銀山は日本最大級の銀山として知られていました。この銀山の支配権をめぐる、中国地方を舞台に激しい抗争を繰り広げた戦国大名の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)
1. 尼子氏と毛利氏                      2. 島津氏と大友氏                      3. 織田氏と今川氏                      4. 武田氏と上杉氏
- 問2 戦国大名が自らの領国に「分国法」を制定した主な目的や歴史的背景の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 室町幕府の将軍の権威を高めるために、全国の守護大名に共通の規律をらせるため。                      2. 外国からの侵略に備えるために、全国の武士を一元的に組織化して国防を強化するため。                      3. 朝廷の許可を得て、幕府の承諾なく独自に隣国の領地へ侵攻できる権利を確保するため。                      4. 家臣が主君に打ち勝つ下剋上の風潮の中で、家臣の行動を取りしめり領国支配を固めるため。
- 問3 石見銀山では16世紀前半に「灰吹法」という新しい精錬技術が導入されたことで、銀の生産量が飛躍的に増大しました。この銀が当時の社会や国際情勢に与えた影響についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 島根県公立入試 類似)
1. 生産された銀はすべて国内の寺院や仏像の装飾に費やされ、戦国大名の信仰心を深める役割を果たした。                      2. 銀は貴重な軍事機密として厳重に管理され、江戸幕府が成立するまで海外の商人と取引されることはなかった。                      3. 大量の銀が海外へ輸出されたことで、16世紀後半には日本の銀が世界の産出量の約3分の1を占めるほどになった。                      4. 銀の増産によって日本独自の通貨制度が完成し、中国から輸入されていた銅銭は一切使われなくなった。
- 問4 1549年、日本の鹿児島に上陸し、キリスト教を日本に初めて伝えたイエズス会の宣教師は誰ですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
1. マゼラン                      2. マルコ・ポーロ                      3. フランシスコ・ザビエル                      4. ヴァスコ・ダ・ガマ
- 問5 日本の戦国時代にあたる16世紀、ドイツのマルティン・ルターが、当時のカトリック教会の腐敗を批判したことから始まったキリスト教の改革運動を何といいますか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 産業革命                      2. 宗教改革                      3. ルネサンス                      4. 十字軍
- 問6 15世紀後半、ポルトガルの支援を受けたバスコ・ダ・ガマが、リスボンを出発してアフリカ大陸南端の喜望峰を經由し、到達に成功した地域はどこですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. カリブ諸島                      2. 北アメリカ                      3. 中国                      4. インド
- 問7 戦国時代において、各地の戦国大名が自らの領国（分国）内の武士や民衆を統制し、領国内の秩序を維持するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 分国法                      2. 武家諸法度                      3. 御成敗式目                      4. 公事方御定書
- 問8 1543年に九州南部の種子島にポルトガル人が漂着した際、日本に初めて伝えられた武器について、その後の歴史に与えた影響として正しいものはどれか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. この武器の伝来をきっかけに、日本独自の武術である剣術や弓術が廃れ、すべての合戦がこの武器のみで行われるようになった。                      2. この武器の輸入を目的として、室町幕府の足利義満によって明との間で勘合貿易が開始された。                      3. 戦いが騎馬による一騎打ちから、足軽による集団戦へと変化し、城の構造も強固な石垣を持つものへと変化した。                      4. 鎌倉時代にモンゴル帝国が襲来した際、日本の武士が防衛のためにこの武器を組織的に使用して撃退した。
- 問9 武士に関わる法律の歴史について、鎌倉時代に北条泰時が制定した「御成敗式目」、江戸時代に幕府が大名を統制するために制定した「武家諸法度」、そして戦国時代に各大名が領国支配のために制定した法律を順に並べたものとして適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 分国法 - 御成敗式目 - 武家諸法度                      2. 御成敗式目 - 分国法 - 武家諸法度                      3. 御成敗式目 - 武家諸法度 - 分国法                      4. 武家諸法度 - 分国法 - 御成敗式目
- 問10 戦国大名が定めた法律の内容に多く見られる、「家臣同士が私的な争いを起こした場合、その理由の正当性を問わず、双方とも処罰する」という原則を何と呼びますか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 奉公と恩賞                      2. 連座（縁座）                      3. 目目安箱                      4. 喧嘩両成敗
- 問11 16世紀半ば、種子島に漂着した西欧人との交流によって日本にもたらされた武器について、その名称と伝えた人々の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 日本刀をオランダ人が伝えた。                      2. 大砲をスペイン人が伝えた。                      3. 火縄銃をポルトガル人が伝えた。                      4. 弓矢を中国（明）の商人が伝えた。
- 問12 戦国時代を象徴する「下剋上」という言葉の意味や背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 農民が団結して自治組織を作り、守護による年貢の取り立てを拒否したこと。                      2. 幕府が守護の権限を強め、地方の国人や農民を厳しく統制しようとしたこと。                      3. 身分の低い者が実力によって上の立場の者を倒し、勢力を拡大させていったこと。                      4. 朝廷が有力な武士に官位を与え、伝統的な身分秩序を維持しようとしたこと。
- 問13 戦国時代、室町幕府の支配力が弱まる中で、各地の戦国大名が自らの領国内の家臣や領民を統制するために独自に定めた法律を何と呼びますか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 武家諸法度                      2. 分国法（家法）                      3. 御成敗式目                      4. 公事方御定書
- 問14 15世紀末、ポルトガルの航海者がアフリカ大陸南端の喜望峰を回ってインドに到達したことで、ヨーロッパからアジアへの直接的な海上ルートが確立されました。この人物が切り開いた「インド航路」について述べたものとして、最も適切なものを答えなさい。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. マルコ・ポーロが、陸路でアジアを訪れた帰路に発見した。                      2. バスコ・ダ・ガマが、香辛料などの取引を目的として到達した。                      3. フェルディナンド・マゼランが、世界一周航海の一環として立ち寄った。                      4. クリストファー・コロンブスが、西回りでアジアを目指す途中に到達した。
- 問15 15世紀後半の応仁の乱以降、室町幕府の権威が低下するなかで、各地の戦国大名が自らの領国内を独自に統治・管理するために制定した法律を何というか、正しい名称を選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 武家諸法度                      2. 分国法                      3. 公事方御定書                      4. 御成敗式目